

株式会社宮崎太陽銀行

2025年9月期決算について

(ダイジェスト版)

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| 1 . 連結決算-概要 | 11 . 地域経済活性化への取組み（販路開拓支援） |
| 2 . 損益-概要（単体） | 12 . 地域経済活性化への取組み（地元企業との連携） |
| 3 . 損益-業務粗利益の状況（単体） | 13 . 地域経済活性化への取組み（各種セミナー開催） |
| 4 . 損益-資金利益の状況（単体） | 14 . 地域経済活性化への取組み（各種セミナー開催） |
| 5 . 損益-経費の状況（単体） | 15 . 地域経済活性化への取組み（宮崎太陽キャピタル） |
| 6 . 損益-与信費用・不良債権の状況（単体） | 16 . 2025年度の主な取組み |
| 7 . 貸出金の状況（単体） | |
| 8 . 預金の状況（単体） | |
| 9 . 自己資本比率（単体・速報値） | |
| 10 . 2026年3月期の業績予想（単体） | |

1. 連結決算－概要

- ① 当期連結決算は、2期ぶりの増収減益（経常利益ベース）
- ② 経常収益は、貸出金利息の増加により前年同期比1,030百万円増加の8,382百万円
- ③ 経常利益は、前年同期比311百万円減少の924百万円
- ④ 親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比271百万円減少の597百万円
- ⑤ 自己資本比率は、前年同期比0.22ポイント上昇し8.42%

1. 連結経営成績

(単位：百万円)

	2025年9月期			2024年9月期	2025年9月期 業績予想
		2024年9月期比	業績予想比		
経常収益	8,382	1,030	632	7,352	7,750
経常利益	924	▲ 311	▲ 26	1,235	950
親会社株主に帰属する中間純利益	597	▲ 271	▲ 103	869	700

2. 連結自己資本比率

(単位：百万円、%)

	2025年9月期		2025年3月期	2024年9月期
	速報値	2025年3月期比		
自己資本比率	8.42%	0.22%	8.20%	8.27%
自己資本の額	37,326	255	37,071	36,797
リスクアセット	442,946	▲ 8,878	451,824	444,830

2. 損益－概要（単体）

- ① 業務粗利益は、前年同期比119百万円増加の4,960百万円
- ② コア業務純益は、前年同期比3百万円減少の927百万円
- ③ 与信費用は、前年同期比379百万円増加の605百万円
- ④ その結果、中間純利益は、前年同期比269百万円減少の592百万円

(単位：百万円)

	2025年9月期			2024年9月期	2025年9月期 業績予想
		2024年9月期比	業績予想比		
業務粗利益	4,960	119		4,841	
経費（除く臨時処理分）（▲）	4,116	187		3,929	
コア業務純益	927	▲ 3	▲ 23	930	950
与信費用（▲）	605	379	355	226	250
経常収益	7,270	1,009	520	6,261	6,750
経常利益	867	▲ 298	▲ 33	1,166	900
特別損益	▲ 5	▲ 16		11	
税引前中間純利益	862	▲ 315		1,177	
法人税等合計	269	▲ 46		315	
中間純利益	592	▲ 269	▲ 108	862	700

3. 損益－業務粗利益の状況（単体）

- ① 資金利益は、前年同期比175百万円増加の5,095百万円
- ② 役務取引等利益は、前年同期比17百万円増加の▲52百万円
- ③ その他業務利益は、前年同期比73百万円減少の▲82百万円

(単位：百万円)

	2025年9月期		2024年9月期
		2024年9月期比	
業務粗利益	4,960	119	4,841
資金利益	5,095	175	4,920
役務取引等利益	▲ 52	17	▲ 69
その他業務利益	▲ 82	▲ 73	▲ 9

4. 損益－資金利益の状況（単体）

- ① 資金利益は、前年同期比175百万円増加の5,095百万円
- ② 中小規模事業者等向け貸出金利息は、前年同期比363百万円増加の2,717百万円
- ③ 円預金利息は、前年同期比552百万円増加の675百万円
- ④ 貸出金利回は、前年同期比0.17ポイント上昇の1.66%

（単位：百万円）

	2025年9月期		2024年9月期		2023年9月期
		2024年9月期比		2023年9月期比	
① 資金利益	5,095	175	4,920	▲ 106	5,026
資金運用収益	5,771	727	5,043	▲ 4	5,048
貸出金利息	4,649	498	4,150	65	4,085
② (うち中小規模事業者等向け)	2,717	※ 363	2,354	※ 53	2,301
(うち地公体)	132	44	88	14	74
有価証券利息配当金	956	150	806	▲ 98	904
その他受入利息	165	78	86	27	58
資金調達費用	675	552	123	101	22
③ 円預金利息	675	552	123	101	21

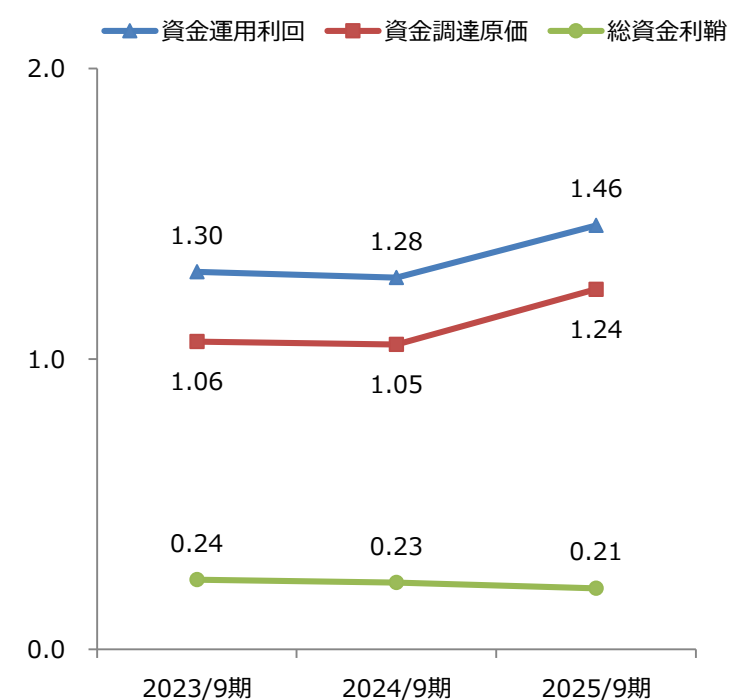
利鞘

（単位：%）

資金運用利回（A）	1.46	0.18	1.28	▲ 0.02	1.30
貸出金利回	1.66	0.17	1.49	▲ 0.01	1.50
④ (うち中小規模事業者等向け)	1.64	0.19	1.45	▲ 0.01	1.46
有価証券利回	1.15	0.15	1.00	▲ 0.13	1.13
資金調達原価（B）	1.24	0.19	1.05	▲ 0.01	1.06
預金等利回	0.17	0.14	0.03	0.03	0.00
総資金利鞘（A）－（B）	0.21	▲ 0.02	0.23	▲ 0.01	0.24

<利鞘の推移>

（単位：%）



5. 損益－経費の状況（単体）

- ① 経費は、前年同期比187百万円増加の4,116百万円
- ② うち人件費は、前年同期比58百万円増加の2,173百万円
- ③ うち物件費は、前年同期比76百万円増加の1,623百万円
- ④ うち税金は、前年同期比52百万円増加の319百万円

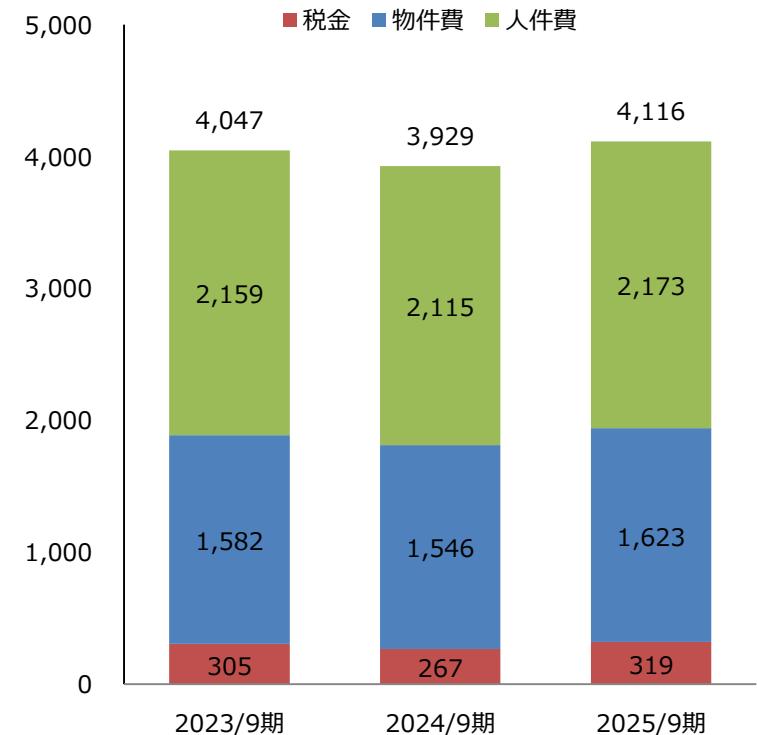
経費内訳

（単位：百万円）

	2025年9月期	2024年9月期比	2024年9月期
経費	4,116	187	3,929
人件費	2,173	58	2,115
物件費	1,623	76	1,546
税金	319	52	267

＜経費内訳の推移＞

（単位：百万円）



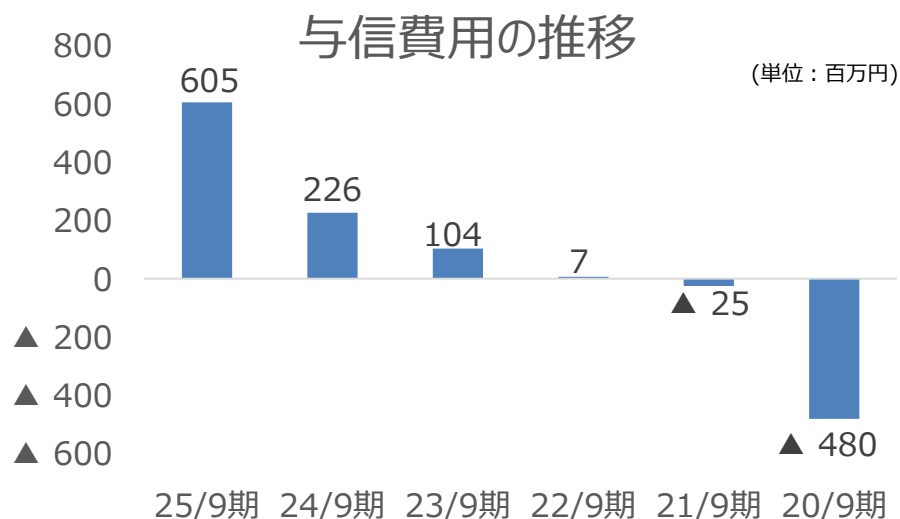
6. 損益－与信費用・不良債権の状況（単体）

与信費用は、前年同期比379百万円増加の605百万円

与信費用

(単位:百万円)

	2025年9月期	2024年9月期比	2024年9月期	2023年9月期	2022年9月期	2021年9月期	2020年9月期
	605	379	226	104	7	▲ 25	▲ 480
一般貸倒引当金繰入額	▲ 8	▲ 143	135	53	▲ 61	▲ 105	▲ 243
不良債権処理額	614	522	91	51	72	82	▲ 234



- ・ コロナ以前から業況が芳しくないお取引先を中心に、売上減少、事業売却などの動きも見受けられる他、コロナ禍で調達した融資金の返済による資金繰り悪化も懸念される。加えて、原材料費や人件費の高騰、喫緊の米国関税問題等、お取引先を取り巻く経営状況等を反映したものです。
- ・ 地元のお取引先に対し積極的なリスクテイクを行っております。
- ・ 予兆管理をしていく一方で、お取引先の業況に応じた適正な貸倒引当金を計上し資産の健全化を進めております。
- ・ 引当をしたお取引先につきましても引き続き事業再生に向けた支援を行っております。

6. 損益－与信費用・不良債権の状況（単体）

- ① 金融再生法開示債権額は、前年同期比2,494百万円増加の12,746百万円
- ② 開示債権の総与信に占める割合は、前年同期比0.43ポイント上昇の2.27%

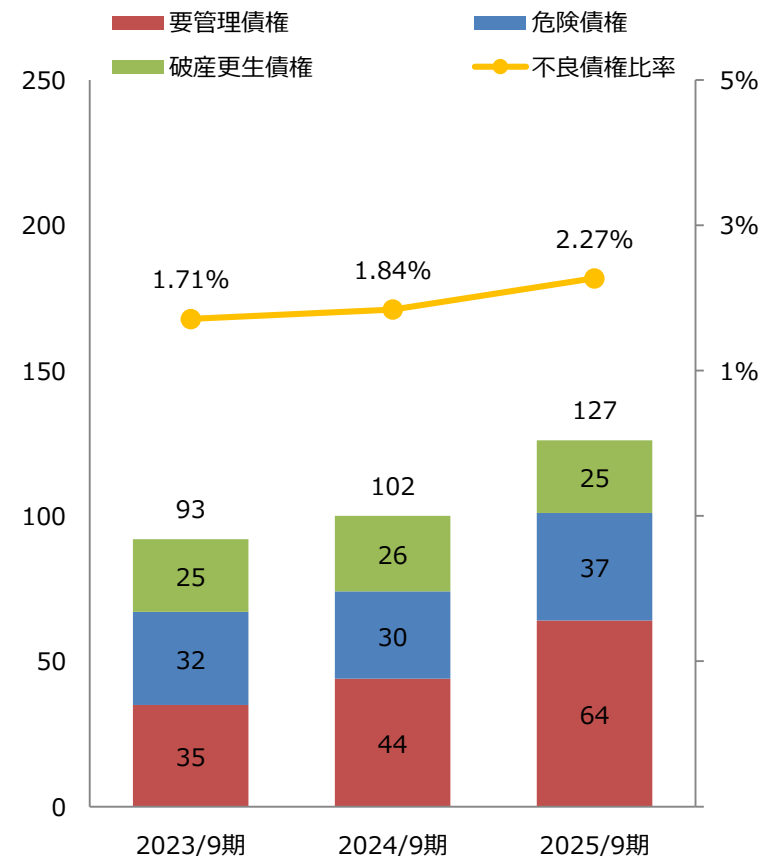
金融再生法開示債権

(単位：百万円、%)

	2025年9月期	2024年9月期比	2024年9月期
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,538	▲ 137	2,675
危険債権	3,791	702	3,088
要管理債権	6,416	1,928	4,487
小 計 (A)	12,746	2,494	10,252
正常債権	547,691	3,680	544,011
合 計 (総与信)	560,438	6,174	554,264
開示債権 (A) の総与信に占める割合	2.27%	0.43%	1.84%

＜金融再生法開示債権の推移＞

(単位：億円、%)



7. 貸出金の状況（単体）

- ① 中小規模事業者等向け貸出は、前年同期比末残57億円、平残61億円増加
これに伴い、貸出金全体の末残は前年同期比61億円増加の5,598億円
- ② 中長期でみると中小規模事業者等向け貸出は、2021年9月期比、末残204億円増加、平残256億円増加

末残

(単位：百万円)

	2025年9月期	2024年9月期比	2021年9月期比	2024年9月期	2023年9月期	2022年9月期	2021年9月期
貸出金	559,871	6,187	30,459	553,684	545,404	540,524	529,412
個人向け	150,761	2,015	15,384	148,746	145,834	141,044	135,377
中小規模事業者等向け貸出	330,732	5,731	20,435	325,001	319,097	316,930	310,297
その他	78,378	▲ 1,559	▲ 5,360	79,937	80,473	82,550	83,738

平残

(単位：百万円、%)

	2025年9月期	2024年9月期比	2021年9月期比	2024年9月期	2023年9月期	2022年9月期	2021年9月期
貸出金	558,472	6,175	35,991	552,297	541,039	533,259	522,481
個人向け	150,224	1,961	16,493	148,263	144,708	139,580	133,731
中小規模事業者等向け貸出	329,257	6,142	25,696	323,115	315,193	310,809	303,561
その他	78,991	▲ 1,928	▲ 6,198	80,919	81,138	82,870	85,189
貸出金に占める中小規模事業者等向け貸出割合	58.90%	0.40%	0.80%	58.50%	58.26%	58.28%	58.10%

8. 預金の状況（単体）

- ① 預金は、前年同期比末残12億円、平残8億円増加の末残7,672億円、平残7,682億円
- ② 中長期では、2021年9月期比、末残494億円増加、平残547億円増加

末残

(単位：百万円)

	2025年9月期			2024年9月期	2023年9月期	2022年9月期	2021年9月期
		2024年9月期比	2021年9月期比				
預金	767,207	1,222	49,483	765,985	750,968	736,222	717,724
個人	547,855	▲ 3,290	32,608	551,145	543,923	536,274	515,247
法人	219,351	4,512	16,875	214,839	207,045	199,948	202,476

平残

(単位：百万円)

	2025年9月期			2024年9月期	2023年9月期	2022年9月期	2021年9月期
		2024年9月期比	2021年9月期比				
預金	768,253	859	54,796	767,394	749,675	735,834	713,457
個人	552,875	170	38,604	552,705	545,147	535,544	514,271
法人	215,377	688	16,192	214,689	204,528	200,290	199,185

(注) 法人預金には、公金預金・金融機関預金を含んでおります。

9. 自己資本比率（単体・速報値）

①2025年9月期の自己資本比率は、前年同期比0.24ポイント上昇の8.47%

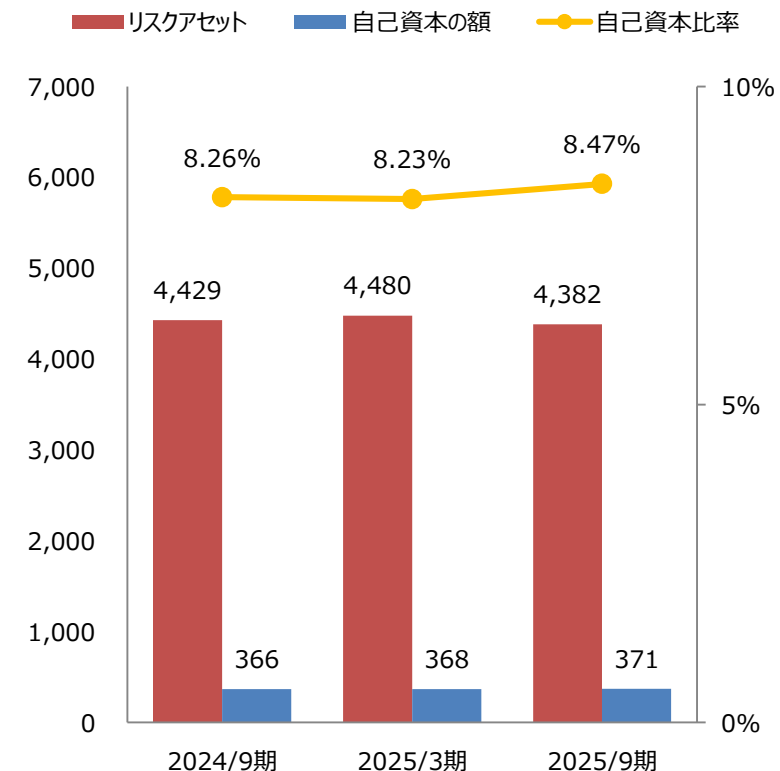
②上昇要因は以下のとおり

- ・利益計上による自己資本額増加
- ・バーゼルⅢ（最終化）基準変更によるリスクアセット減少

（単位：億円、%）

（単位：百万円、%）

	2025年9月期		2025年3月期	2024年9月期
	速報値	2025年3月期比	実績	実績
自己資本比率	8.47%	0.24%	8.23%	8.26%
自己資本の額	37,138	252	36,886	36,612
リスクアセット	438,299	▲ 9,799	448,098	442,911



10. 2026年3月期の業績予想（単体）

- ① 2025年度通期の業績予想は、
 コア業務純益 : 1,900百万円
 経常収益 : 14,000百万円
 経常利益 : 1,800百万円
 当期純利益 : 1,400百万円 を見込む
- ② 2025年度通期の与信関係費用は期初の500百万円から1,200百万円に変更する

(単位：百万円)

	2025年9月期 中間期予想	2025年9月期 中間期実績	2026年3月期 通期予想
コア業務純益	950	927	1,900
経常収益	6,750	7,270	14,000
経常利益	900	867	1,800
当期純利益	700	592	1,400
与信関係費用	250	605	1,200

地域経済活性化・社会貢献への取組み

11. 地域経済活性化への取組み（販路開拓支援）

第二地方銀行主催「食の魅力発見商談会2025」

2025年7月4日、全国の加盟第二地方銀行を実行委員とする、食品事業者向け商談会「**食の魅力発見商談会**」が開催され、当行お取引先からは水産物加工事業者様と製茶卸事業者様が参加しました。

総出展者数156社、参加バイヤー数2,526名と大規模な商談会で、終日活発な商談・情報交換が行われました。

今回参加された事業者様も、多数のバイヤーと名刺交換し、具体的な見積り依頼を受けるなど今後の新規取引に繋がる結果となりました。



（▲写真は商談会の様子）

12. 地域経済活性化への取組み（大学との連携事業）



宮崎大学認定連携協力コーディネーター報告・検討会

宮崎大学との連携事業の一つとして、「認定連携協力コーディネーター」に認定された当行及び当行グループ会社職員が、お取引先の技術相談や知財相談を宮崎大学へ取り次ぐほか、宮崎大学と当行による合同検討会を実施しております。また鹿児島大学における同様の制度においても、2021年10月より当行行員1名がコーディネーターとして認定され、鹿児島県内の企業様の事業課題など鹿児島大学へ橋渡しを行っております。

直近の事例としては、廃材等の中間処理事業を行っている事業者様の、原料調達が多様化について意見交換を行い、大学側より調達に関する提案等がなされました。



（◀写真は2025年度の検討会の様子）

13. 地域経済活性化への取組み（各種セミナー開催）

次世代塾の開講（延べ290名受講）

経営層や後継者等を対象とする企業人材育成支援セミナー「次世代塾」を2014年度より毎年実施しています。経営者に必要な基礎や、現状の経営課題を打破するための応用を学ぶ機会を、実践演習を交えながらご提供しています。これまで**延べ290名が受講されており、うち18名の新代表者が誕生**しております。

2025年度につきましては、6月より第11期 次世代塾を開講しており、2025年6月から2026年5月まで各テーマごとに全12回開催します。



（▲写真は2025年度の次世代塾の様子）

14. 地域経済活性化への取組み（各種セミナー開催）

行内研修のノウハウを活用し、地元企業や各種機関の人材育成に役立てていただくため、『太陽セミナー』を開催しました。

当行では、1971（昭和46）年から、太陽セミナーを開催しております。このセミナーは、当行が行内向けに開催してきた「新人研修」や「接遇研修」のノウハウを活用し、お取引先の事業活動に役立ててもらうことが目的です。2025年度は、10事業所の約280名の方が受講しています。

【太陽セミナーの様子】



▲医療法人 和敬会 平和台病院



▲株式会社 エリア宮崎



▲クラーク記念国際高等学校連携校宮崎キャンパス

宮崎太陽キャピタルの活動紹介

15. 地域経済活性化への取組み（宮崎太陽キャピタル）

地元の個人、中小零細の生産者を支援するECサイト運営企業への投資

宮崎太陽キャピタルの投資先に、「鹿児島県の生産者の明るい未来を創り出す」をミッションとして、鹿児島県に特化した農産加工品販売のECサイト「かごしまぐるり」を運営するスタートアップ企業があります。

インターネット販売を行いたくても各種リソース（人、知識、ノウハウ等）に課題があり、新たな販路開拓に困られている個人や中小零細の生産者・加工業者等に対して、2021年9月、ワンストップで課題解決を行うECサイト「かごしまぐるり」のサービス提供を開始しました。

2025年9月末現在、鹿児島県全域で300を超える、生産者・加工業者と取引があり、1,000品目以上の商品を取り扱っています。今後、地元宮崎県、ひいては九州全体で同様のサービスを展開していく計画であり、当社の更なる飛躍により、地元の個人・中小零細の生産者の課題解決、活性化が期待されることから、投資を行いました。



2025年度の主な取組み

16. 2025年度の主な取組み



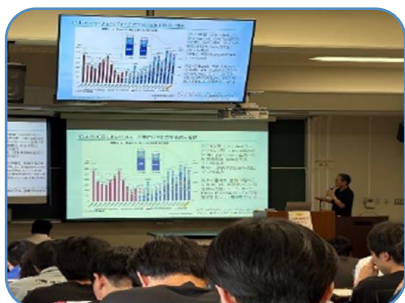
宮崎国際音楽祭へ明星支援学校生徒を招待

- 全盲のピアニストで、2歳の時にピアノに出会ってから独学で習得し、「世界中を旅していろんな人に聞いてもらって、元気が出るような、そんなピアニストになりたい。」その言葉に感銘を受け、辻井伸行氏演奏会への招待を提案しました。



『「小さな親切」運動クリーンアップ宮崎』で地域貢献

- 年2回、宮崎市街地周辺のエリアで清掃活動に取り組んでおります。今年は、6月に1回目を実施され当行から35名の行員が参加しました。約1時間かけ空き缶やペットボトルなど90リットルのごみ袋で10袋のゴミが集まりました。



宮崎大学で講演を実施

- 当行関連会社である宮崎太陽キャピタルは、地域経済活性化への取組みとして、宮崎大学において「ベンチャーキャピタルとは」というテーマで講演を行っています。次世代を担う大学生の皆さんに地元宮崎におけるスタートアップ企業創出に向けた機運の醸成につながることを期待しています。

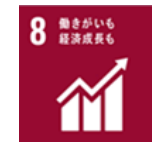


16. 2025年度の主な取り組み



延岡支店新築オープン

- 2025年7月7日（月）に延岡支店・延岡中央出張所が新店舗で営業開始しました。これからも、お取引先の利便性を第一に考えた店舗の効率的な運営に取り組めます。



宮崎県よろず支援拠点合同勉強会を開催

- 当行、日本政策金融公庫、宮崎県信用保証協会の職員で合同勉強会を実施しています。また、鹿児島県においても「カゴよろ勉強会」と命名し鹿児島県よろず支援拠点にご協力いただいて同様の勉強会を開催しております。



特殊詐欺防止、宮崎南署より感謝状を受領

- SNS型投資詐欺を未然に防いだとして宮崎南署から感謝状を当行行員が受領しました。営業店ではマネロンに対する質問や気づき、最近の当行を含む全国の金融機関で起こっている特殊詐欺の事例等を題材にしてマネロン・テロ資金供与防止を目的にOJTを実施しています。



16. 2025年度の主な取り組み



TKC・宮崎県信用保証協会と合同勉強会を開催

- 都城・延岡・宮崎の各会場にて合同勉強会を開催しました。「伴走支援に必要な決算書と損益計算書の基礎知識」、宮崎県信用保証協会の各種制度融資について勉強しました。再生支援の観点からも、外部機関との連携を強化しております。



ひろしま美術館展の招待券贈呈

- 地元の子どもたちが芸術の素晴らしさに触れる機会を提供できればと、協賛特典として受け取った招待券を県教育委員会に贈呈させていただきました。



こどもがつくるまち「みやっ子タウン」に参加

- 宮崎市青少年育成連合会主催のイベントに今年も参加しました。子供たちが街づくりの疑似社会体験を通して、社会の仕組みについて学ぶことを目的としており、当行が担当する銀行の職業体験では、お金の管理の大切さや、お金を循環させることの重要性を学んでいただきました。

